

山形県・酒田市合同総合防災訓練で

地震保険・水災補償保険を紹介

～山形県は地震保険および水災補償の付帯率がいずれも東北 6 県でワースト 1～

日本損害保険協会東北支部山形損保会（会長：明石 昌樹・三井住友海上火災保険株式会社山形支店長）は、9 月 7 日（日）に酒田市の DENKI TEKKO フィールド（光ヶ丘陸上競技場）で行われた山形県・酒田市合同総合防災訓練に参加し、防災関係者・県民・市民の皆さんに地震保険・水災補償保険を周知しました。

県の総合防災訓練は毎年行われていますが、今年は昨年 7 月の大雨で大きな被害を受けた酒田市と山形県との合同開催となり、「大雨が続いた後に地震が発生」という複合災害を想定して開催されました。

山形県は、地震保険の付帯率が 71.2%と、全国平均（70.4%）は上回っているものの東北 6 県では最も低く【2024 年度数値】、水災補償の付帯率については 58.2%と、全国平均（63.0%）を下回り、東北 6 県で最も低く全国でもワースト 4 となっています【2023 年度数値】。

ブースでは、地震保険と水災補償にかかるクイズを行うとともに、ハザードマップにかかるアンケートを行いました。10 代～80 代までの男女 61 名に回答いただいた結果は以下のとおりです。来場者の多くは日頃防災に関わっている方でしたが、地震保険の加入方法を認識している人は 3 割以下で、地震保険には加入しているものの仕組みや補償内容をあまり理解していないという方も一定数いました。水災補償の方も同様に、認識不足と付帯率の低さがリンクしていると感じました。

<クイズ・アンケート結果>

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| ① 地震保険は火災保険とセットでなければ加入できない（→はい） | 正答率 23.0% |
| ② 火災保険で補償されるのは火事の場合のみである（→いいえ） | 正答率 60.7% |
| ③ 自宅や勤務先のハザードマップを確認したことがある | あ り 90.2% |

今後も、当支部では、関係機関と連携して防災に関する取組みを推進するとともに、自然災害を補償する保険の理解促進・普及に取り組み、県民の皆さんの安全・安心に繋げてまいります。



損保協会のブースの様子

～クイズに答えてもらった方に防災に役立つノベルティをプレゼント！